

公益社団法人日本化学会
第105春季年会 市民公開講座

日本化学会では、一般市民の方々を対象とする恒例の「市民公開講座」を企画しました。今回も私たちの生活に密接に関連した身近な話題を、専門の先生方にやさしくお話していただきます。どの先生もそれぞれの分野でご活躍の著名な先生方ですので、楽しんでいただける半日になると思います。奮ってご参加ください。

P R O G R A M

13:00-13:05 | 開会挨拶 東レ株式会社 後藤 一起

13:05-13:40 | 森林 × 化学 =
未来：さとやま化楽工房で俵せな世界を！

日本の、世界のものづくり産業を支えているのが、化学産業です。石油などの大量の化石資源を原料とする現在の石油化学から、再生可能な森林資源を原料にする森林化学産業を提案します。この化学産業は、人類だけでなく自然環境をも俵せにすることを目指しています。

京都大学 教授 中村 正治



13:45-14:20 | 有機化学YouTuberってぶっちゃけ儲かるの？

演者は2019年から有機化学YouTuberとして活動してきた。現在、有機化学専門YouTubeチャンネルとしては日本最大規模であり、チャンネル登録者数は日本化学会の会員数を超えた。そんな演者はこれまでに何度も「どれくらい儲かっているの？」と聞かれてきた。「ぼちぼちかな～」と普段ぼかしてきた演者が、本講演ではYouTuberとしてのお財布事情を赤裸々に開示する。

DIC株式会社 ケミトロニクス技術1G もろびー



14:25-15:00 | 化学の世界のギネスブック

化学者たちは、日夜研究に取り組み、新しい物質を発見し、また創り出しています。こうした努力の中から、いくつも驚くべき物質が生み出されています。今回はそうした物質の中から、「最大の分子」「最高額の元素」など、世界記録を持つものを紹介してゆきます。

サイエンスライター 佐藤 健太郎



15:05-15:40 | 太陽光と水からきれいな水素をつくる光触媒

人類は石油や天然ガスを大量に消費して二酸化炭素を発生しているため、気候変動が心配されています。水素は二酸化炭素を発生しないエネルギー源です。太陽エネルギーを使って水を分解して水素を取り出す光触媒ができれば、きれいなエネルギーを半永久的に作り出せます。このような光触媒の開発の現状と将来展望についてお話しします。

信州大学 特別特任教授/
東京大学 特別教授 堂免 一成



<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/csj105th/content/shimin>

化学の未来

自然と対話が紡ぐ

2025
3.29 SAT
13:00-15:40

ハイブリッド開催 参加費無料

現地会場 関西大学
千里山キャンパス
第3学舎4号館
ソシオAV大ホール

アクセス 阪急電鉄千里線
「関大前」駅下車、すぐ
(正門までは徒歩約5分)

オンライン Zoom
主催 公益社団法人 日本化学会
第105春季年会 実行委員会
共催 関西大学
後援 吹田市教育委員会

お申込みはコチラから

春季年会HPより
お申込みください。

